



2021年12月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2021年11月2日
上場取引所 東

上場会社名 花王株式会社
 コード番号 4452 URL www.kao.com/jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 長谷部 佳宏
 問合せ先責任者 (役職名) 会計財務部門 管理部長 (氏名) 牧野 秀生 TEL 03-3660-7111
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	1,020,959	1.6	108,994	△9.2	113,509	△4.7	83,362	△4.6	82,070	△4.5	111,259	47.0
2020年12月期第3四半期	1,005,260	△9.4	120,062	△20.5	119,148	△20.3	87,352	△16.9	85,941	△17.0	75,695	△18.9

	基本的1株当たり 四半期利益		希薄化後1株当たり 四半期利益	
	円	銭	円	銭
2021年12月期第3四半期	172	42	172	40
2020年12月期第3四半期	178	70	178	67

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率	1株当たり親会社 所有者帰属持分
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2021年12月期第3四半期	1,632,789	929,915	912,383	55.9	1,925.35
2020年12月期	1,665,616	938,194	923,687	55.5	1,920.56

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	70.00	—	70.00	140.00
2021年12月期	—	72.00	—	—	—
2021年12月期（予想）	—	—	—	72.00	144.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,430,000	3.5	177,000	0.8	177,000	1.7	127,000	0.7	267.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、 除外 ー社 （社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期3Q	475,000,000株	2020年12月期	482,000,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期3Q	1,120,039株	2020年12月期	1,054,019株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期3Q	476,000,663株	2020年12月期3Q	480,925,176株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】5ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報（2）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する概要	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	9
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(7) 継続企業の前提に関する注記	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する概要

注：以下、()付きの数字はマイナス表示であり、「実質」とは為替変動の影響を除く増減率を表示しています。

	売上高 (億円)	営業利益 (億円)	営業利益率 (%)	税引前 四半期 利益 (億円)	四半期 利益 (億円)	親会社の 所有者に 帰属する 四半期利益 (億円)	基本的 1株当たり 四半期利益 (円)
2021年12月期 第3四半期累計期間	10,210	1,090	10.7	1,135	834	821	172.42
2020年12月期 第3四半期累計期間	10,053	1,201	11.9	1,191	874	859	178.70
増減率	1.6% 実質 (0.4)%	(9.2)%	—	(4.7)%	(4.6)%	(4.5)%	(3.5)%

新型コロナウイルス感染症の拡大は、社会・経済活動や世界の人々の暮らしに引き続き大きな影響をもたらしています。世界各国でワクチン接種が進む中、感染症の拡大は一進一退を繰り返しており、経営環境は依然として不透明な状況が続きました。

2021年1月から9月において、当社グループの主要市場である日本のトイレットリー市場は、回復の兆しが見え始めましたが、繰り返される感染症の再拡大や昨年発生した需要拡大の反動により、前年同期を下回りました。また、化粧品市場は、各地で続いた緊急事態宣言の影響が大きく、前年同期を下回り回復の力強さは見られません。

このような中、**売上高**は、前年同期に対して1.6%増の1兆210億円（実質0.4%減）となりました。**営業利益**は1,090億円（対前年同期111億円減）となり、**税引前四半期利益**は1,135億円（対前年同期56億円減）となりました。**四半期利益**は834億円（対前年同期40億円減）となりました。

当第3四半期の海外連結子会社等の財務諸表項目（収益及び費用）の主な為替の換算レートは、次のとおりです。

	第1四半期 1-3月	第2四半期 4-6月	第3四半期 7-9月
米ドル	105.96円 [108.95円]	109.47円 [107.54円]	110.09円 [106.17円]
ユーロ	127.74円 [120.18円]	131.90円 [118.41円]	129.78円 [124.05円]
中国元	16.35円 [15.61円]	16.95円 [15.18円]	17.01円 [15.34円]

注：[]内は前年同期の換算レート

〔セグメント別の概況〕

第1四半期で実施した報告セグメントの変更の概要は以下の通りです。（参照P.13（6）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項 1. セグメント情報）。

1. ハイジーン&リビングケア事業を新設し、従来、ファブリック&ホームケア事業に分類していたファブリックケア製品、ホームケア製品に加え、ヒューマンヘルスケア事業のサニタリー製品を組み入れています。
2. ヘルス&ビューティケア事業を新設し、従来、スキンケア・ヘアケア事業に分類していたスキンケア製品、ヘアケア製品に加え、ヒューマンヘルスケア事業に分類されていたパーソナルヘルス製品を組み入れています。
3. ライフケア事業を新設し、従来、ファブリック&ホームケア事業に分類されていた業務用衛生製品に加え、ヒューマンヘルスケア事業に分類されていた健康飲料を組み入れています。
4. 上記1～3のセグメントの再編により、前年同期の売上高及び営業利益を組み替えて表示しています。

セグメントの業績

	売上高				営業利益				
	第3四半期累計期間		増減率		第3四半期累計期間				増減 (億円)
	2020年 12月期 (億円)	2021年 12月期 (億円)	(%)	実質 (%)	2020年12月期		2021年12月期		
					(億円)	利益率 (%)	(億円)	利益率 (%)	
ハイジーン&リビングケア事業	3,672	3,572	(2.7)	(4.0)	559	15.2	411	11.5	(148)
ヘルス&ビューティケア事業	2,697	2,612	(3.2)	(4.8)	474	17.6	413	15.8	(61)
ライフケア事業	376	381	1.4	1.1	32	8.5	25	6.5	(7)
化粧品事業	1,603	1,659	3.5	0.8	(73)	(4.5)	1	0.1	74
コンシューマープロダクツ事業	8,348	8,224	(1.5)	(3.1)	993	11.9	850	10.3	(143)
ケミカル事業	1,993	2,280	14.4	11.0	207	10.4	233	10.2	27
小計	10,341	10,503	1.6	(0.4)	1,200	—	1,083	—	(116)
セグメント間消去又は調整	(289)	(294)	—	—	1	—	7	—	6
合計	10,053	10,210	1.6	(0.4)	1,201	11.9	1,090	10.7	(111)

販売実績

第3四半期累計期間		(億円、増減率%)				
		日本	アジア	米州	欧州	合計
ファブリック&ホームケア製品	2020年	2,072	304	18	—	2,395
	2021年	2,060	290	21	—	2,371
	増減率	(0.6)	(4.6)	14.8	—	(1.0)
	実質	(0.6)	(7.6)	1.7	—	(1.5)
サニタリー製品	2020年	636	641	1	—	1,278
	2021年	570	630	1	—	1,201
	増減率	(10.4)	(1.7)	(24.4)	—	(6.0)
	実質	(10.4)	(6.9)	(33.6)	—	(8.6)
ハイジーン&リビングケア事業	2020年	2,708	945	19	—	3,672
	2021年	2,630	920	22	—	3,572
	増減率	(2.9)	(2.6)	13.0	—	(2.7)
	実質	(2.9)	(7.1)	0.0	—	(4.0)
ヘルス&ビューティケア事業	2020年	1,687	219	522	269	2,697
	2021年	1,507	218	581	306	2,612
	増減率	(10.7)	(0.3)	11.3	13.6	(3.2)
	実質	(10.7)	(4.9)	9.2	5.0	(4.8)
ライフケア事業	2020年	323	0	52	1	376
	2021年	310	0	70	1	381
	増減率	(4.0)	15.3	35.3	(1.5)	1.4
	実質	(4.0)	6.8	33.0	(10.5)	1.1
化粧品事業	2020年	1,140	306	38	118	1,603
	2021年	1,072	410	40	137	1,659
	増減率	(6.0)	33.8	4.5	15.9	3.5
	実質	(6.0)	23.5	3.3	6.6	0.8
コンシューマープロダクツ事業	2020年	5,857	1,470	632	389	8,348
	2021年	5,518	1,548	713	444	8,224
	増減率	(5.8)	5.3	12.9	14.3	(1.5)
	実質	(5.8)	(0.4)	10.5	5.5	(3.1)
ケミカル事業	2020年	815	407	327	444	1,993
	2021年	898	513	356	512	2,280
	増減率	10.2	26.2	8.9	15.2	14.4
	実質	10.2	21.0	5.7	7.3	11.0
セグメント間売上高の消去	2020年	(255)	(19)	(1)	(14)	(289)
	2021年	(255)	(24)	(0)	(15)	(294)
売上高	2020年	6,418	1,857	959	819	10,053
	2021年	6,162	2,037	1,069	941	10,210
	増減率	(4.0)	9.7	11.6	14.9	1.6
	実質	(4.0)	4.0	8.9	6.6	(0.4)

注：コンシューマープロダクツ事業は、外部顧客への売上高を記載しており、ケミカル事業では、コンシューマープロダクツ事業に対する売上高を含めています。地域別の売上高は、販売元の所在地に基づき分類しています。

売上高に占める海外に所在する顧客への売上高の割合は、前年同期の38.4%から42.1%となりました。

コンシューマープロダクツ事業

売上高は、前年同期に対して1.5%減の8,224億円（実質3.1%減）となりました。

当期は、感染症拡大の影響に加え原材料価格上昇により、厳しい経営環境が続きました。特に第3四半期は、日本やアセアンでの感染症の再拡大に加え、原材料価格の上昇の影響を大きく受けました。また、昨年発生した衛生関連製品を中心とした特需の反動の影響がある中、コアブランドへの集中投資や新しい生活様式に対応するデジタル化の推進、Eコマースの強化等に取り組みました。

以上の結果、日本の売上高は、前年同期に対して5.8%減の5,518億円となりました。

アジアでは、売上高は5.3%増の1,548億円（実質0.4%減）となりました。

米州の売上高は、12.9%増の713億円（実質10.5%増）となり、欧州の売上高は、14.3%増の444億円（実質5.5%増）となりました。

営業利益は、850億円（対前年同期143億円減）となりました。

当社は、【ハイジーン&リビングケア事業】、【ヘルス&ビューティケア事業】、【ライフケア事業】、【化粧品事業】を総称して、コンシューマープロダクツ事業としています。

【ハイジーン&リビングケア事業】

売上高は、前年同期に対し2.7%減の3,572億円（実質4.0%減）となりました。

ファブリックケア製品は、日本では、コロナ禍において清潔意識が高まる中、市場は伸長しましたが、衣料用洗剤と柔軟仕上げ剤で競合との激しい競争がありました。衣料用洗剤「アタック」は改良品を発売し、ブランドとしてトップシェアを維持しています。

ホームケア製品は、日本では台所用漂白剤や住居用洗浄剤等の衛生関連製品において、昨年発生した特需の反動により市場全体が縮小し売り上げは減少しましたが、浴室用洗剤では、新製品「バスマジックリン エアジェット」を発売しシェアを大きく挽回しました。アジアでは新しく「マジックリン」の消毒剤を発売し、衛生関連製品を中心に引き続き堅調に推移しました。

サニタリー製品は、生理用品「ロリエ」は中国で好調に売り上げを伸ばしましたが、日本では外出自粛の影響で市場が縮小し、売り上げ及びシェアは減少しました。ベビー用紙おむつ「メリーズ」は、インドネシアでは順調に推移しました。中国では引き続き改革を進めています。

営業利益は、411億円（対前年同期148億円減）となりました。

【ヘルス&ビューティケア事業】

売上高は、衛生関連製品を中心に、昨年発生した需要拡大の反動が影響したことで、前年同期に対して3.2%減の2,612億円（実質4.8%減）となりました。

スキンケア製品は、日本ではハンドソープや手指消毒液の市場が大きく縮小し、売り上げは減少しましたが、コロナ禍前の一昨年に比べて大きくシェアを伸ばしました。またUVケア製品等のシーズン品は、外出自粛や天候不順の影響を大きく受けました。米州では上期は前年同期の高い需要の反動が続きましたが、第3四半期に入りロックダウンが緩和されたことで、売り上げはほぼ前年同期の水準まで回復しました。

ヘアケア製品では、マス向け製品は、日本でのヘアカラー等の市場回復が遅れており、売り上げは減少しました。またヘアサロン向け製品は、欧州では感染拡大が一進一退を繰り返す中、徐々に回復傾向にあります。米国では「Oribe（オリベ）」が、Eコマースを中心に好調に推移したことにより、売り上げは伸長しました。

パーソナルヘルス製品の売り上げは、巣ごもり需要により入浴剤は好調に推移しましたが、インバウンド需要が減少した影響を受け、前年同期をわずかに下回りました。

営業利益は、413億円（対前年同期61億円減）となりました。

【ライフケア事業】

売上高は、前年同期に対して1.4%増の381億円（実質1.1%増）となりました。

業務用衛生製品は、日本では上期は、衛生管理や感染症対策が特に必要な医療関連施設や飲食店等で、手指消毒液等の継続的な需要がありましたが、下期に入り緊急事態宣言が継続され、外出・移動制限や、飲食店等の休業要請・時短営業が大きく影響し、売り上げは前年同期を大幅に下回りました。米州では顧客シェアの拡大や対象業界の景気回復によって、売り上げは前年同期を大きく上回りました。

健康飲料は、特定保健用食品「ヘルシア」が、巣ごもり需要を背景にEコマースで売り上げを伸ばしましたが、度重なる緊急事態宣言の延長等により市場が縮小し、売り上げは前年同期に比べて減少しました。

営業利益は、25億円（対前年同期7億円減）となりました。

【化粧品事業】

売上高は、前年同期に対して3.5%増の1,659億円（実質0.8%増）となりました。

日本では、売り上げはインバウンド需要の減少や緊急事態宣言の継続による市場回復の遅れにより、特にメイクブランドが苦戦し前年同期を下回りました。しかしながら、コロナ禍でのマスク生活の新提案や、様々なデジタル施策によりヒット商品が誕生し、売り上げは回復基調にあります。アジアでは、中国で「フリープラス」や「キュレル」がEコマースを中心に引き続き好調に推移し、売り上げを大きく伸ばしました。また欧州では、ロックダウンの緩和により市場が回復傾向にあることに加え、Eコマースの強化により売り上げは伸長しました。

営業利益は、1億円（対前年同期74億円増）となりました。

ケミカル事業

売上高は、前年同期に対して14.4%増の2,280億円（実質11.0%増）となりました。

対象業界の回復を捉えるとともに、油脂誘導体製品等が堅調に推移しました。

油脂製品では、殺菌や洗浄用途等の油脂誘導体製品が堅調に推移したことに加えて、天然油脂価格の上昇に伴う販売価格の改定に継続して努めたこともあり、売り上げは伸長しました。

機能材料製品は、自動車関連分野等での需要回復の動きを着実に捉えて、売り上げは伸長しました。

スペシャルティケミカルズ製品では、トナー・トナーバインダーが昨年の市場低迷からは回復傾向にあり、半導体関連製品は堅調に推移しました。

営業利益は、233億円（対前年同期27億円増）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大や原材料価格上昇の懸念等により不透明な経営環境が続くことが予想されますが、今期からスタートした5ヵ年にわたる花王グループ中期経営計画「K25」の戦略を着実に実行し、公表数値の達成を目指していきます。従いまして、2021年8月3日に公表した連結業績予想は変更していません。

なお、連結業績予想に用いた主な為替の換算レートは、109円/米ドル、130円/ユーロ、17円/中国元です。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
資産			
流動資産			
現金及び現金同等物	353,176	298,967	(54,209)
営業債権及びその他の債権	200,087	180,825	(19,262)
棚卸資産	197,641	232,813	35,172
その他の金融資産	7,257	6,111	(1,146)
未収法人所得税	2,085	6,908	4,823
その他の流動資産	18,150	19,209	1,059
流動資産合計	778,396	744,833	(33,563)
非流動資産			
有形固定資産	430,914	430,621	(293)
使用権資産	149,543	140,233	(9,310)
のれん	177,031	181,707	4,676
無形資産	48,256	51,022	2,766
持分法で会計処理されている投資	8,657	9,319	662
その他の金融資産	23,608	24,339	731
繰延税金資産	42,274	42,937	663
その他の非流動資産	6,937	7,778	841
非流動資産合計	887,220	887,956	736
資産合計	1,665,616	1,632,789	(32,827)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2021年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
負債及び資本			
負債			
流動負債			
営業債務及びその他の債務	215,842	217,822	1,980
社債及び借入金	30,465	2,722	(27,743)
リース負債	19,787	19,444	(343)
その他の金融負債	6,571	2,994	(3,577)
未払法人所得税等	28,109	21,739	(6,370)
引当金	1,811	1,243	(568)
契約負債等	23,098	27,647	4,549
その他の流動負債	99,721	95,133	(4,588)
流動負債合計	425,404	388,744	(36,660)
非流動負債			
社債及び借入金	97,229	124,655	27,426
リース負債	126,725	117,705	(9,020)
その他の金融負債	7,862	7,169	(693)
退職給付に係る負債	51,858	46,484	(5,374)
引当金	9,175	8,939	(236)
繰延税金負債	4,584	4,631	47
その他の非流動負債	4,585	4,547	(38)
非流動負債合計	302,018	314,130	12,112
負債合計	727,422	702,874	(24,548)
資本			
資本金	85,424	85,424	—
資本剰余金	106,618	105,540	(1,078)
自己株式	(3,865)	(3,958)	(93)
その他の資本の構成要素	(43,376)	(16,840)	26,536
利益剰余金	778,886	742,217	(36,669)
親会社の所有者に帰属する持分合計	923,687	912,383	(11,304)
非支配持分	14,507	17,532	3,025
資本合計	938,194	929,915	(8,279)
負債及び資本合計	1,665,616	1,632,789	(32,827)

(2) 要約四半期連結損益計算書

	注記	前第3四半期 連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	増減
		百万円	百万円	百万円
売上高	1	1,005,260	1,020,959	15,699
売上原価		(578,743)	(604,175)	(25,432)
売上総利益		426,517	416,784	(9,733)
販売費及び一般管理費	2	(307,672)	(309,985)	(2,313)
その他の営業収益		11,870	12,979	1,109
その他の営業費用		(10,653)	(10,784)	(131)
営業利益	1	120,062	108,994	(11,068)
金融収益		1,317	4,496	3,179
金融費用		(4,330)	(1,953)	2,377
持分法による投資利益		2,099	1,972	(127)
税引前四半期利益		119,148	113,509	(5,639)
法人所得税		(31,796)	(30,147)	1,649
四半期利益		87,352	83,362	(3,990)
四半期利益の帰属				
親会社の所有者		85,941	82,070	(3,871)
非支配持分		1,411	1,292	(119)
四半期利益		87,352	83,362	(3,990)
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)		178.70	172.42	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)		178.67	172.40	

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

	前第3四半期 連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期 連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	増減
	百万円	百万円	百万円
四半期利益	87,352	83,362	(3,990)
その他の包括利益			
純損益に振り替えられることのない項目			
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の純変動	(190)	520	710
確定給付負債(資産)の純額の再測定	—	(193)	(193)
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	(138)	339	477
純損益に振り替えられることのない項目合計	(328)	666	994
純損益に振り替えられる可能性のある項目			
在外営業活動体の換算差額	(11,246)	26,949	38,195
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	(83)	282	365
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	(11,329)	27,231	38,560
税引後その他の包括利益	(11,657)	27,897	39,554
四半期包括利益	75,695	111,259	35,564
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者	74,839	109,022	34,183
非支配持分	856	2,237	1,381
四半期包括利益	75,695	111,259	35,564

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2020年1月1日残高	85,424	108,715	(4,309)	448	(39,630)	—	6,208
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	(10,774)	0	(328)
四半期包括利益	—	—	—	—	(10,774)	0	(328)
自己株式の処分	—	(98)	402	(137)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(19)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	245	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分 の変動	—	(48)	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	(3)	—	—	(514)
所有者との取引等合計	—	99	383	(140)	—	—	(514)
2020年9月30日残高	85,424	108,814	(3,926)	308	(50,404)	0	5,366

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			合計	非支配持分	資本合計
	確定給付負債 (資産)の純 額の再測定	合計	利益剰余金			
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2020年1月1日残高	—	(32,974)	700,839	857,695	13,726	871,421
四半期利益	—	—	85,941	85,941	1,411	87,352
その他の包括利益	—	(11,102)	—	(11,102)	(555)	(11,657)
四半期包括利益	—	(11,102)	85,941	74,839	856	75,695
自己株式の処分	—	(137)	(165)	2	—	2
自己株式の取得	—	—	—	(19)	—	(19)
株式に基づく報酬取引	—	—	—	245	—	245
配当金	—	—	(64,925)	(64,925)	(1,269)	(66,194)
子会社に対する所有者持分 の変動	—	—	—	(48)	999	951
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	(517)	517	—	—	—
所有者との取引等合計	—	(654)	(64,573)	(64,745)	(270)	(65,015)
2020年9月30日残高	—	(44,730)	722,207	867,789	14,312	882,101

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	在外営業活動 体の換算差額	キャッシュ・ フロー・ヘッ ジの公正価値 の変動額の有 効部分	その他の包括 利益を通じて 公正価値で測 定される金融 資産の純変動
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日残高	85,424	106,618	(3,865)	268	(49,368)	(0)	5,724
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	26,286	0	859
四半期包括利益	—	—	—	—	26,286	0	859
自己株式の処分	—	(334)	51,697	(89)	—	—	—
自己株式の取得	—	—	(51,790)	—	—	—	—
株式に基づく報酬取引	—	277	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	—	—	—	—
子会社に対する所有者持分 の変動	—	(1,021)	—	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	(4)	—	—	(516)
所有者との取引等合計	—	(1,078)	(93)	(93)	—	—	(516)
2021年9月30日残高	85,424	105,540	(3,958)	175	(23,082)	0	6,067

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	確定給付負債 (資産)の純 額の再測定	合計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
2021年1月1日残高	—	(43,376)	778,886	923,687	14,507	938,194
四半期利益	—	—	82,070	82,070	1,292	83,362
その他の包括利益	(193)	26,952	—	26,952	945	27,897
四半期包括利益	(193)	26,952	82,070	109,022	2,237	111,259
自己株式の処分	—	(89)	(51,272)	2	—	2
自己株式の取得	—	—	—	(51,790)	—	(51,790)
株式に基づく報酬取引	—	—	—	277	—	277
配当金	—	—	(67,794)	(67,794)	(797)	(68,591)
子会社に対する所有者持分 の変動	—	—	—	(1,021)	1,585	564
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	193	(327)	327	—	—	—
所有者との取引等合計	193	(416)	(118,739)	(120,326)	788	(119,538)
2021年9月30日残高	—	(16,840)	742,217	912,383	17,532	929,915

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
	百万円	百万円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	119,148	113,509
減価償却費及び償却費	64,144	65,666
受取利息及び受取配当金	(1,208)	(975)
支払利息	1,985	1,527
持分法による投資損益(益)	(2,099)	(1,972)
有形固定資産及び無形資産除売却損益(益)	2,225	2,703
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	32,436	26,919
棚卸資産の増減額(増加)	(15,096)	(28,830)
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(7,784)	972
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(4,644)	(5,868)
その他	(2,152)	(11,651)
小計	186,955	162,000
利息の受取額	1,202	900
配当金の受取額	2,032	2,174
利息の支払額	(2,066)	(1,511)
法人所得税等の支払額	(52,016)	(42,271)
営業活動によるキャッシュ・フロー	136,107	121,292
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	(9,001)	(6,466)
定期預金の払戻による収入	14,414	7,827
有形固定資産の取得による支出	(47,632)	(46,238)
無形資産の取得による支出	(7,402)	(7,294)
その他	597	1,959
投資活動によるキャッシュ・フロー	(49,024)	(50,212)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(減少)	(41)	320
長期借入による収入	1,080	30,091
長期借入金の返済による支出	(37)	(31,173)
社債の発行による収入	24,939	—
社債の償還による支出	(24,942)	(12)
リース負債の返済による支出	(15,598)	(15,982)
自己株式の取得による支出	(21)	(51,790)
支払配当金	(64,415)	(67,152)
非支配持分への支払配当金	(1,220)	(802)
その他	1,148	807
財務活動によるキャッシュ・フロー	(79,107)	(135,693)
現金及び現金同等物の増減額(減少)	7,976	(64,613)
現金及び現金同等物の期首残高	289,681	353,176
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	(2,598)	10,404
現金及び現金同等物の四半期末残高	295,059	298,967

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

1. セグメント情報

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。なお、取締役会は、売上高及び営業利益を主要な指標として、各セグメントの業績評価を行っております。

当社グループは、コンシューマープロダクツ事業部門を構成する4つの事業分野（ハイジーン&リビングケア事業、ヘルス&ビューティケア事業、ライフケア事業、化粧品事業）及びケミカル事業部門の5つの事業を基本にして組織が構成されており、各事業単位で、日本及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、「ハイジーン&リビングケア事業」、「ヘルス&ビューティケア事業」、「ライフケア事業」、「化粧品事業」及び「ケミカル事業」の5つを報告セグメントとしております。

当社グループは、2021年1月1日付の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より、従来「化粧品事業」、「スキんケア・ヘアケア事業」、「ヒューマンヘルスケア事業」、「ファブリック&ホームケア事業」及び「ケミカル事業」の5区分としていた報告セグメントを、「ハイジーン&リビングケア事業」、「ヘルス&ビューティケア事業」、「ライフケア事業」、「化粧品事業」及び「ケミカル事業」の5区分に変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

各報告セグメントの主要な製品は、以下のとおりであります。

報 告 セ グ メ ン ト		主 要 製 品	
コンシューマー プロダクツ事業	ハイジーン&リビングケア事業	ファブリックケア製品	衣料用洗剤、洗濯仕上げ剤
		ホームケア製品	台所用洗剤、住居用洗剤、掃除用紙製品
		サニタリー製品	生理用品、紙おむつ
	ヘルス&ビューティケア事業	スキんケア製品	化粧石けん、洗顔料、全身洗浄料
		ヘアケア製品	シャンプー、コンディショナー、ヘアスタイリング剤、ヘアカラー、メンズプロダクツ
		パーソナルヘルス製品	入浴剤、歯みがき、歯ブラシ、温熱用品
ライフケア事業	ライフケア製品	業務用衛生製品、健康飲料	
化粧品事業	化粧品	カウンセリング化粧品、セルフ化粧品	
ケミカル事業	油脂製品	高級アルコール、油脂アミン、脂肪酸、グリセリン、業務用食用油脂	
	機能材料製品	界面活性剤、プラスチック用添加剤、コンクリート用混和剤、道路用薬剤	
	スペシャルティケミカルズ製品	トナー、トナーバインダー、水性インクジェット用顔料インク、香料	

(2) 報告セグメントの売上高及び業績

前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	367,244	269,695	37,572	160,271	834,782	170,478	1,005,260	—	1,005,260
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	28,857	28,857	(28,857)	—
売上高合計	<u>367,244</u>	<u>269,695</u>	<u>37,572</u>	<u>160,271</u>	<u>834,782</u>	<u>199,335</u>	<u>1,034,117</u>	<u>(28,857)</u>	<u>1,005,260</u>
営業利益 (又は損失)	55,933	47,436	3,208	(7,278)	99,299	20,654	119,953	109	120,062
金融収益									1,317
金融費用									(4,330)
持分法による投資利益									2,099
税引前四半期利益									<u>119,148</u>

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額109百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

	報告セグメント							調整額 (注1)	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	コンシューマープロダクツ事業					ケミカル 事業	合計		
	ハイジーン& リビングケア 事業	ヘルス& ビューティ ケア事業	ライフケア 事業	化粧品 事業	小計				
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
売上高									
外部売上高	357,171	261,177	38,115	165,895	822,358	198,601	1,020,959	—	1,020,959
セグメント間の内部 売上高及び振替高 (注2)	—	—	—	—	—	29,357	29,357	(29,357)	—
売上高合計	<u>357,171</u>	<u>261,177</u>	<u>38,115</u>	<u>165,895</u>	<u>822,358</u>	<u>227,958</u>	<u>1,050,316</u>	<u>(29,357)</u>	<u>1,020,959</u>
営業利益 (又は損失)	41,136	41,318	2,471	97	85,022	23,304	108,326	668	108,994
金融収益									4,496
金融費用									(1,953)
持分法による投資利益									1,972
税引前四半期利益									<u>113,509</u>

(注1) 営業利益 (又は損失) の調整額668百万円には、セグメント間取引に係る棚卸資産の調整額等の消去のほか、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。

(注2) セグメント間の内部売上高及び振替高は、主に市場価格や製造原価に基づいて算出しております。

2. 販売費及び一般管理費

販売費及び一般管理費の内訳は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間	当第3四半期連結累計期間
	(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
	百万円	百万円
広告宣伝費	51,643	52,458
販売促進費	32,575	31,009
従業員給付費用	111,511	114,963
減価償却費	13,798	13,923
償却費	6,534	6,290
研究開発費	43,474	43,768
その他	48,137	47,574
合計	307,672	309,985

(7) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。